

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 5年 8月 18日

事業所名 放課後等デイサービス 星の王子さま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	2	家具の配置を考慮したり、なるべく広いスペースをとれるようにしている。	訓練室等スペースは法定基準を満たしているが、やや狭く感じることもある。散歩や戸外活動(軽作業)など屋外の活動を増やしたり、工夫をして活動に支障がないよう努めていく。	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2			日々の人員配置は基準を満たしているが、よりきめ細やかな支援を行うために加配の職員の増員を検討していく。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	2	安全に過ごせるように段差をスロープなどに行っている。	子どもに応じた安全性の確認を行い、今後改善していく。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		定期的にケース会議などを行い、全体での共通理解を図っている。	会議などでは全員が発言できるように工夫し、支援の方向性について話し合って決めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5					
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2		アンケート結果は書面配布とホームページで公表して	公開していることを周知していく。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	第三者による外部評価を行っていない。	必要に応じて検討していく。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		内部研修は行っている。	今年度は外部研修を受けられる機会が増えてきている。これからも積極的に受講していく。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		計画更新の都度、保護者と面談を行いニーズに沿って計画作成をしている。		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	4			標準化されたアセスメントツールは導入していないので、今後検討していく。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		職員会議を月に1度行っている。	活動プログラム(行事など)の打ち合わせを職員会議で行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		新しいプログラムと固定化して長期的に取り組んでいくプログラムとを、様子を見ながら取り入れている。	子どもの状況を細かく把握し、興味をもって取り組めるようなプログラムを考えていく。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		平日と長期休暇とでプログラムは変えている。	長期休暇など利用時間が長時間になるので課題をきめ細やかに決めていく。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			子どもの状況と保護者のニーズをすり合わせて計画を作成している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			支援開始前に利用者の近況や注意事項や送迎予定など打ち合わせをしている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			3	2	緊急性のある事案についてはその日のうちに各職員から報告を受け、迅速に対応している。	報告を受けた事案に関して、翌日の支援前の打ち合わせで情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2		3		連絡ノートを毎日つけている。	子ども達の状況の把握と支援方法の検証・改善は業務前の打ち合わせやケース会議でも行っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5						
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3		2		複数を組み合わせるようして支援を行っている。	職員がガイドラインを把握しきれていないこともあるので、周知を図っていく。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	児発管が参加している。	担当の職員に聞き取りを行い、複数の視点から子どもをとらえられるようにし、会議に反映できるようにしていく。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	必要に応じ、情報共有・連絡調整を行っているが、欠席の確認や下校時間の変更が漏れてしまう時がある。	情報共有・連絡調整を忘れずに行っていきたい。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	2	1	医療的ケア児がない	・無回答1 ・現在、医療的ケアが必要な利用者はいないが、受け入れる場合は柔軟な対応をしていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3		保護者を通じて情報提供を受けることが多い。	今後、必要に応じて各情報機関と情報共有を行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		障害福祉サービス事業所等からの問い合わせは今年度はなかった。	情報を求められたら、保護者の了承のもと情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1	相談員さんには面談時に同席していただいている。今年度は外部研修にも参加した。	これからも連携を密にとっていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		1	4	外出時に地域の子どもと一緒に遊ぶ機会はある。	今後、交流の機会を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	2	管理者が出席している。	出席していることを職員が知らなかったので周知をし、内容の共通理解を図っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5				
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3		その都度話を聞き、助言などは行っている。	ペアレントトレーニングを意識して保護者支援を行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	3		契約時に、なるべく分かりやすいように説明している。	分からないことも多いと思うので、質問を受け付けるなど丁寧な対応を今後も続けていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	3		相談事をしっかり聞き、適切なアドバイスを心がけている。	引き続きこれからも、保護者の方に寄り添う助言と支援を行っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	父母の会はない。	親子交流会を今年は行った。今後も参加していただき交流の機会を設けていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情があった際は迅速に対応し、適切な問題解決に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			毎月発行している「星の王子さまだより」やホームページにてさまざまな情報を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5			個人ファイル、写真の取り扱い等に注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	2		保護者の方とは口頭だけでなく連絡帳などを活用し、的確な情報共有や連絡を行っている。	今後も個々に合わせた情報伝達の方法を配慮していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	1	2	2	コロナ禍にて実施できていない。	地域との交流の機会について検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	各マニュアルは整備してある。	定期的に周知・説明していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	半年に一度、避難訓練(火災・地震)を行っている。	全員の職員がもれなく参加できるよう取り計らって行く。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	今年度は外部の研修にも参加した。	今後も積極的に研修に参加し、虐待防止に対して高い意識を持って支援を行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	4	現在、身体拘束に当たる事案はない。	現在、身体拘束に当たる事案はないが、必要とされる場合にはガイドラインに則って対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	指示書の提出は求めていないが保護者の方に聞き取りを行い、それを基に配慮について職員で情報共有を行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		ヒヤリハットの事案が起こった時には書面で残し、職員で共有をしている。	